

「首都圏における多摩川およびその流域の環境浄化に関する
基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究」を募集

財団法人とうきゅう環境浄化財団

財団法人とうきゅう環境浄化財団（会長：横田二郎）では、2001年度研究助成事業として「首都圏における多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究」をひろく一般から募集します。

この研究助成事業は、多摩川およびその流域の環境浄化を促進するため、1975年から毎年実施されているもので、これまでに388件の研究に対して助成金を交付しています。

2001年度も引き続き意欲的な研究を、下記のとおり募集します。

記

- 研究対象者 学識経験者の方はもちろん、一般の方でも研究に意欲のある方であれば、どなたでもご応募いただけます。
- 研究対象テーマ
- ①産業活動または住生活と多摩川およびその流域との関係に関する調査および試験研究
 - ②排水・廃棄物等による多摩川の汚染の防除に関する調査および試験研究
 - ③多摩川およびその流域における水の利用に関する調査、試験研究
 - ④多摩川をめぐる自然環境の保全、回復に関する調査、試験研究
- 応募締切 2001年1月15日（月）
- 応募方法 応募についての詳細は、財団事務局までお問い合わせ下さい。

(参 考)

「とうきゅう環境浄化財団」の概要

- 法 人 名 財団法人とうきゅう環境浄化財団
- 法人事務局 渋谷区渋谷1丁目16番14号
- 法人役員 会長 横田 二郎
- 設 立 1974年8月28日
- 法人の目的
- ①多摩川およびその流域の環境浄化保全に関する調査・試験研究ならびに助成
 - ②多摩川およびその流域の環境浄化保全に関する行政施策等に対する協力
 - ③多摩川およびその流域の余暇活動に対する指導および援助
 - ④多摩川およびその流域の環境浄化に関する広報
- 主な事業内容
- ①研究助成事業
下記の研究課題を対象とする学術研究と一般研究に対する助成事業
 - ・人間活動と多摩川およびその流域との関係にまつわる調査、試験研究
 - ・多摩川水質の汚染の防除に関する調査、試験研究
 - ・多摩川およびその流域における水の利用に関する調査、試験研究
 - ・多摩川をめぐる自然環境の保全、回復に関する調査、試験研究
 - ②調査研究事業
 - ③普及啓発事業
 - ④環境回復援助事業

○研究助成の実績

年 度	新規研究	継続研究	計	金 額
1975～88年度	222件	238件	460件	559,840,540円
1989年度	11	17	28	47,986,630
1990年度	16	16	32	48,279,955
1991年度	14	21	35	40,022,930
1992年度	12	23	35	47,938,060
1993年度	19	18	37	47,750,104
1994年度	13	25	38	48,169,436
1995年度	11	20	31	38,285,680
1996年度	11	17	28	30,450,243
1997年度	14	17	31	32,447,997
1998年度	16	17	33	35,936,508
1999年度	16	21	37	36,927,445
2000年度	13	20	33	34,047,070
合 計	388	470	858	1,048,082,598

これらの研究成果は、「助成集報」、「多摩川環境調査助成集」などの刊行物としてまとめ、多摩川の環境浄化に関係の深い行政機関、図書館、教育委員会などに寄贈し、ご活用いただいております。

- [主な寄贈先]
- ・行政機関：通産省、建設省、環境庁、東京都、川崎市など
 - ・図書館：川崎市、大田区、調布市、立川市、八王子市など
 - ・教育委員会：川崎市、大田区、世田谷区、八王子市など

研究課題	代表研究者・所属
<p style="text-align: center;">＜学 術 研 究＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多摩川集水域におけるツキノワグマの土地利用についての研究〔主としてオスおよび若齢個体の移動分散様式について〕 ●多摩川中、下流における縄文時代以降の環境変遷と現環境の成立に関わる研究 ●内分泌攪乱物質による多摩川流域の土壤動物汚染の解明：環形動物貧毛綱「ミミズ」を指標に用いた解析 ●GISを用いた流域分類と流出現象のモデル化に関する研究－多摩川流域丘陵地への適用－ ●多摩川上流丹波川流域における河川水質形成に及ぼす雪の効果 ●多摩川河川敷の河跡池における植物群落の生育立地と多様性 	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県自然博物館 動物研究室 学芸員 山崎 晃司 ・明治大学 文学部 教授 杉原 重夫 ・杏林大学 保健学部 教授 蒲生 忍 ・東京大学 空間情報科学研究センター 助教授 小口 高 ・信州大学 理学部 助教授 鈴木 啓助 ・東京農工大学 農学部 助教授 星野 義延

研究課題	代表研究者・所属
<p style="text-align: center;">＜一 般 研 究＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●用水を総合的な学習に生かす一日野の用水を例として－ ●住民の眼で見つづけた多摩川の30年－蓄積データ解析による自然の変遷と自然観の変化についての研究－ ●多摩川下流域における神社の境内の樹木の研究－特に樹種構成とその配置について－ ●地質野外実習地としての多摩川中流域および狭山丘陵に分布する上総層群の露頭の現状とそれに基づく教材開発 ●多摩川最上流域における斜面崩壊の発生機構 ●『水みちマップ』をつくるための調査研究と井戸にみる多摩市の昔の暮らし ●多摩川源流部の沢・尾根・滝・淵等の地名と由来に関する調査・研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子市立第八小学校 教諭 小坂 克信 ・多摩川の自然を守る会 代表 柴田 隆行 ・東京都立武蔵高等学校 教諭 秋山 好則 ・慶應義塾幼稚舎 教諭 馬場 勝良 ・東京都立大学大学院 修士課程 林 誠 ・生活者の会 会員 山田 厚子 ・多摩川源流観察会 会長 中村 文明

